

国際共創学部ディプロマポリシー＜2026年度以降入学者＞

	大学共通	国際共創学部 国際共創学科
人材育成方針	成蹊大学は「理念・目的」を踏まえ、以下の人材育成方針のもとに教育を行います。 1 広い教養と深い（各学科、各専攻の）専門知識を備え、物事の本質を探究する思考力を養成する。 2 自己の人生観・価値観を確立し、自分の考えや意見を的確かつ明瞭に表現、発信する力を養成する。 3 多様な文化、環境、状況に対応し、他者と協働して課題の解決に取り組む力を養成する。 4 未知のものに積極的に挑み、生涯学び続けようとする自発性と積極性を養成する。	日本をはじめとする世界各地の文化や自然・社会環境等をグローバルな視野で理解し、人文系と自然科学系の両面にわたる複眼的な思考と他者との協働によって、現代社会の様々な課題にチャレンジして解決できる、また、日本と世界をつなぐ人材を養成する。 1) 世界の多様な文化や自然・社会環境等を理解し、広い視野を持って、持続可能な社会の構築のために生涯学び続けることのできる人材を養成する。 2) 様々な事象をグローバルな視野からとらえ、現代社会における複雑な諸課題の本質を理解することのできる人材を養成する。 3) 文理複眼的かつ論理的な思考力、分析力を持ち、自然環境や現代社会の諸課題の解決にチャレンジできる人材を養成する。 4) 国内外の多様な人々と協働して、主体的に課題の発見・解決に取り組み、自らの取り組みやその意義、成果等を説明・発信することのできる人材を養成する。 5) 国際社会で活動・活躍できる確かな英語力を持った人材を養成する。
DP	成蹊大学は、「教育の目標（人材育成方針）」を踏まえ、次のように学位授与の方針を定めます。「専門分野の知識・技能の修得」「教養の修得」「課題の発見と解決」「多様な人々との協働」「表現力、発信力」「自発性、積極性」の各項目に関して、以下の基準に到達するように編成された各学科、各専攻の教育課程において、所定の単位を修得した者に対して所定の学位を授与します。	国際共創学部国際共創学科は、大学全体の学位授与の方針に基づき、「専門分野の知識・技能」「教養の修得」「課題の発見と解決」「表現力、発信力」「多様な人々との協働」「自発性、積極性」の各項目に関して、以下の基準に到達するように編成された教育課程において、所定の単位を修得した者に対して「学士（学術）」の学位を授与する。
DP1	【専門分野の知識・技能】 (DP1) (各学科、各専攻の) 専門分野に関する知識・技能を修得している。	【専門分野の知識・技能】 (DP1-1) 国際共創学科各専攻の専門分野に関する知識・技能を修得している。 (DP1-2 共創基礎力) 環境や文化を理解するための基礎となる地理学、環境科学、歴史、生活文化等の学修を通じて世界や地域の環境、文化の理解を深め、また、データや資料・文献の調査・分析に関する科目、ゼミナール科目等の学修により共創のための基礎力を身につけている。 (DP1-3 国際コミュニケーション基礎力) 国内外におけるフィールドワークや演習、英語科目の学修によりグローバルに活躍できるコミュニケーション力、英語力を身につけている。 (DP1-4 専攻ごとの専門知識やスキル) 各専攻で必要とされる基礎的な知識とスキルを身につけながら、テーマを絞ったより専門性の高い分野を体系的に学修し、国際日本学専攻では、「文化学」「地域学」等に関する専門知識やスキル、環境サステナビリティ学専攻では、「環境学」「地理学」等に関する専門知識やスキルを身につけている。
DP2	【教養の修得】(広い視野での思考・判断) (DP2) 人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野で思考・判断を行うことができる。	【教養の修得】 (DP2-1 基礎教養) 人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野に関する基礎的な知識を修得し、広い視野で思考・判断を行うことができる。 (DP2-2 広い視野での思考・判断) 人文科学、社会科学、自然科学及びこれらにまたがる学際的な分野の基本的な概念と基礎となる思考方法を理解し、人間社会の諸問題を多角的に把握するための幅広い教養と社会性・国際性を身につけ、広い視野で思考・判断を行う力を身につけている。 (DP2-3 社会人としての素養) 幅広い学修により、社会人としての教養、倫理観、道徳観、社会通念を身につけ、世界や地域社会に貢献できる社会人としての素養を身につけている。
DP3	【課題の発見と解決】(情報の調査収集＋分析・解釈＋論理的思考) (DP3) 課題の本質を発見するために必要な情報（文献、統計等を含む）を調査収集し、それらを的確に解釈・分析し、課題の解決に向けて論理的に思考する能力を身に付けている。	【課題の発見と解決】 (DP3-1 情報の調査収集＋分析・解釈＋論理的思考) 課題の本質や解決方法を見出すために必要な情報を書籍、関連学会誌・論文集、インターネットにより公開されているデータなどから収集、調査、分析・解釈する能力を身につけている。また、課題の解決に向けて論理的に思考し、行動する力を身につけている。 (DP3-2 課題解決のための実践力) フィールドワーク、実験・実習、演習、研究活動などを通じて、社会課題に対して的確な解決方法を策定し、それを実践する力を身につけている。
DP4	【表現力、発信力】 (DP4) 自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ明瞭に発信できる豊かな表現力を身に付けている。	【表現力、発信力】 (DP4-1 意見の発信力・表現力) 自分の意見や考えを、外に向けて的確かつ明瞭に発信できる豊かな表現力を身につけている。 (DP4-2 専門知識・成果の発信力) 専門的な内容及び学修・研究を通じて得られた成果を、第三者に的確かつ明瞭に発信できる豊かな表現力と、その内容について他者と十分に討論する能力を身につけている。
DP5	【多様な人々との協働】(コミュニケーション＋協調性＋チームワーク) (DP5) 多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。	【多様な人々との協働】 (DP5-1 協調性・コミュニケーション力) 多様な人々と協働して課題解決に取り組んだ経験を通じて、多様な価値観を受容し、協調性やコミュニケーション力を身に付け、チームの中で自分の役割を的確に果たすことができる。 (DP5-2 多様な価値観の理解力) 主たる「専攻科目」に加え、「フィールド・実践科目」、副専攻科目等の学修を通じて、多様な視点を持った柔軟な思考力を身につけ、他分野の人とのコミュニケーションを図りながら多様な価値観を理解する能力を身につけている。 (DP5-3 チームワーク力) 協働する仲間との円滑なコミュニケーションを図りながら、自身と他者の専門性を有効に組合せ、問題解決にあたるチームワーク力を身につけている。
DP6	【自発性、積極性】 (DP6) 学びで獲得した知識・技能を、様々な活動(正課・正課外や学内・学外を問わず)において自発的・積極的に活用した経験を有している。	【自発性、積極性】 (DP6-1 自発性・積極性) 様々な学びで獲得した知識・技能を、様々な活動(正課・正課外や学内・学外を問わず)において自発的・積極的に活用した経験を有している。 (DP6-2 知的好奇心・継続性) 留学、インターンシップ、ボランティア、分野横断的あるいは産学連携のPBL、卒業研究等の学修を通じて、未知なるものに挑む強い知的好奇心を持ち、継続的に学修して社会課題の解決に貢献しようとする意欲とそれを実行するための計画力を身につけている。